感動の余韻 ～お客さまアンケートより～

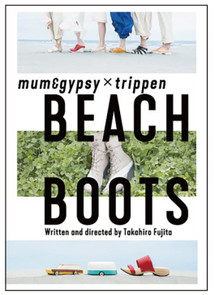
りゅーとぴあNEXT Stage“NE/ST”+
mum&gypsy×trippen『BEACH』『BOOTS』

息が詰まるような、また、心にじんわりと染みる情景が、とても良かったです。スピーディな役者のやりとり、錯綜する言葉たちに惹き込まれました。音楽も、とても好きです。
（新潟市外／20代／女性）

とても面白かったです。時間の軸がたくさんあり、観ていて楽しかった。（新潟市／20代／女性）

『BEACH』と『BOOTS』、どちらも観ました。つながってないけど、つながってる世界。最近、適当な靴ばかり履いてました。良い革の靴が欲しくなりました。（新潟市／50代／女性）

夏とかビーチとか、あまり馴染みのない私です。『BEACH』は、かったるい時間の感じが夏でした。サイダー飲みたくなりました。
（新潟市／20代／女性）



Noism1 実験舞踊 vol.1『R.O.O.M.』／『鏡の中の鏡』新潟公演

予測していたコト、期待していたコト、全てを超えて、とんでもない舞台でした。びっくりするくらい、びっくりしました。
（新潟市外／40代／女性）

ダンサーの身体、振付や構成はもとより、照明、音響、舞台装置、全てがここまで高いクオリティの作品は、他に無いと感じました。
（新潟市外／40代／女性）

県外から転勤で来て、「新潟の宝だから観るべきだ」と人から力説され来場したのですが、衝撃でした。身体や呼吸をコントロールすること、その表現を体験できて良かった。こんなにすごいものが新潟で観られるなんて幸せだ。（新潟市／50代／女性）

新潟まで観に来て良かった。東京で見るのと全く違う価値。また新潟にNoismを見に来たい。SHIKAKUを見た時のような衝撃を受けた。また明日から仕事がんばろう（生きていこう）って思える時間でした。（新潟市外／30代／女性）

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

① 『キネマと恋人』

公演日
7月26日（金）18:30
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

② 東響定期+α ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

公演日
7月3日（水）19:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

③ マチュー・デュフォー フルート・リサイタル

公演日
7月27日（土）19:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

応募方法:ご希望の商品名（①『キネマと恋人』チケット、②「ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団」チケット、③「マチュー・デュフォー　フルート・リサイタル」チケット）、（1）〒住所、（2）氏名、（3）年齢、（4）電話番号、（5）本誌を入手した場所、（6）本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.56プレゼント係」 present@ryutopia.or.jp
応募者の中から抽選し、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2019年5月31日（金）必着

編集後記

寒かった冬も終わり、柔らかな陽射しが降り注ぐようになりました。花の蕾もほころび、道行く人の服だって華やいで、街が色づいてきたように感じます。新しい学校、新しい職場、新しい土地で出発する人も多いこの季節。私たち広報スタッフも新しいこと、始めてみたくなりました。「りゅーとぴあマガジン」のデザインを9年ぶりにリニューアル。白を基調にすると差し色が映えるのはインテリアと同じです。さまざまな公演やアーティストの魅力が引き立って市民の皆さんの心に留まる、そんな誌面になればと願っています。（T）

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリンピア日本海、ほんぽーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、上越文化会館、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問合せは事業企画部 広報営業課まで
次号vol.57は2019年7月1日発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・県民会館を一体的に管理しています。

お問合せ

休館日：毎月第2・第4月曜日、年末年始（12/29～1/3）※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622（11:00～19:00）	■事業企画部	TEL.025-224-7000（平日　10:00～18:00）
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521（11:00～19:00）		
■施設利用お問合せ	TEL.025-224-5621（9:30～18:00）	■県民会館	TEL.025-228-4481
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631（平日　10:00～18:00）	■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

Ryutopia Magazine 2019 Spring vol.56　2019年4月1日発行
発行／りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館　〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2（白山公園内）
表紙撮影：東浦一夫（写真は昨年度の改修工事の様子）　編集：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館　制作：株式会社 新交企画
デザイン：株式会社 U・STYLE　印刷：西蒲中央印刷株式会社
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
http://www.ryutopia.or.jp

Ryutopia Magazine

RYUTOPIA MAGAZINE

vol.56
2019 Spring

Known as “Ryutopia,” the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

ギター2本になることで演奏の幅は∞（無限）に拡がります。

ギターデュオは星の数ほどあれど、彼らほど“ギター同士の対話”を聴きたくなるコンビネーションとは滅多に出会えるものではありません。日本を代表するトップ・ギタリストでありながら、お互いを兄と弟のように思う最高最強のユニット。今回は、そのお一人・大萩康司さんに話を聞きました。

大萩康司 Yasuji Ohagi

高校卒業後に渡仏し、エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、合わせて審査員特別賞（レオ・ブローウェル賞）受賞。2002年～2006年、イタリアのキジアーナ音楽院で4年連続最優秀ディプロマを取得。NHK「トップランナー」やTBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、BS朝日「My Anniversary Song」等へのメディア露出も活発。モスクワ、台湾、コロンビア、キューバ等での国際ギターフェスティバルに度々招聘を受け、世界各地において活動の場を広げる。近年では大阪フィル、新日本フィルと協演した他、2019年にはNHK交響楽団との協演も予定。メゾ・ソプラノ波多野睦美との映画音楽集「コーリング・ユー」（2018年7月）のほか、15枚のCDと2枚のDVDをリリース。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。

――鈴木大介さんとのギタリスト共演ですね。

実は鈴木大介さんとは、15年以上も共演を重ねてきた仲なんです。兄貴分の大介さんとなら、ステージから飲み屋まで、どこでご一緒しても不安はありません（笑）。

真面目な話、同じギター同士ということで音量の差によるストレスはほぼ皆無です。むしろ2台になることで、弦の本数も演奏の幅も、倍かそれ以上に拡がる喜びがあります。特に最近は「音楽でのキャッチボールが楽しい」と思える瞬間が多々あって、もっとデュオの機会があればと思っていました。大介さんと共演できて本当に嬉しいですね。

――ビギナーから通の方まで楽しめる素晴らしいプログラムです。これに決まった経緯は？

大介さんが「はい」と出してくれたものがほとんどですが、この中にはこれまで我々が長年温めてきた曲や、新鮮な気持ちで演奏できる曲まで網羅されています。蓋を開けてみれば名曲からマニアックなものまで揃ったな、という印象です。

――特におすすめの曲はありますか？

そうですね。きっとお寿司屋さんでも、「今日一番良いのは何？」と聞かれたら一応答えるでしょうけれど、やっぱり納得できるネタだけを取り揃えると思うんです。プログラムも同じで、曲を吟味し、演奏順をよく考えてお出しするものなので、全体を通して味わっていただいて、最終的にどんな味になったかを楽しんでもらえればと思います。

――大萩さんにとって、すべての音楽はジャンルを超えてつながっている？

以前、TV番組「情熱大陸」に出させていただいたとき、キューバで私がレッスンを受けたレイ・ゲーラ先生は「クラシックもジャズもロックも境界線などない。すべて『音楽』でしょう？」と話していました。どのジャンルでも共通する部分があるし、良い音楽には感動する。私自身、ギターを始めた8歳くらいの頃はジャンルの区別などついていませんでした。習っているのはクラシック音楽だけど、テレビで流れた音楽をクラシックギターで耳コピーしてみたり。例えるなら、ジャンルの一本道を前しか見ずに進んできたというより、広い音楽の森の中を寄り道して遊んだり失敗しながら、今日まで辿り着いた気がします。

――お忙しい毎日です。演奏以外でやってみたいことは。

日本全国津々浦々、足の向くまま気の向くまま、目的のない旅をしてみたいです。泊めていただいた時にはお礼の演奏したり……と楽器はやっぱり持っていきそうですね（笑）。

――読者の皆さんにメッセージを。

信濃川の澄んだ流れの影響なのか、新潟は空気がすっきりとしていて、また、コンサートホールの響きもナチュラルに感じます。だからいつもフレッシュな気持ちで演奏に臨めるのです。そんな新潟に行けることを、とても楽しみにしています。

インターネットで便利に音楽を楽しめる時代になりましたが、目の前で生音が聴こえてくる音楽の面白さを共有できたら嬉しいです。皆さんの大切な休日の時間をお借りして演奏しますので、心を込めて、一音一音を紡ぎます。ぜひご来場ください！

Information

鈴木大介＆大萩康司 ギターデュオ・プレミアム

【日時】4月28日（日）14:00開演　【出演】鈴木大介、大萩康司
【会場】コンサートホール　【料金】全席指定 ¥2,000
【曲目】M.ラヴェル（S.ゴス編）／道化師の朝の歌
F.タレガ／アルハンブラの思い出
A.ピアソラ／タンゴ組曲 他

自己と向き合う「鏡」世界を映し出す「鏡」

Noismのこれまでの作品で舞台美術として多用されてきた「鏡」。演出振付家の金森穣は、そこに何を映し出そうとしているのか。7月に新潟初演を迎える『Mirroring Memories―それは尊き光のごとく』についても聞いた。

作品に登場する鏡について金森は語る。「多義性があるため、作品ごとに、シーンごとに象徴するものが変わります。思いもよらない鏡の象徴を観客が受け取ることもあって、特定の効果を狙うというより、ひとつそこに『謎』を置いているということ。観客がより自由にそれぞれ見ることを可能にする、そんな強烈な舞台美術です」

自分を見つめ、認知するツールである鏡。「mirror」の語源はラテン語の「mirare 見つめる」、さらに遡ると古典ラテン語の「mirari 驚嘆する・感嘆する」に至るというが、金森は創作において、鏡をどう捉えているのだろう。

「クラシックバレエで鏡がないスタジオはまずありませんが、バットシェバ舞踊団のオハッド・ナハリンなど、外形にフォーカスすることで中身が失われていくと考え、人間の内面的な充実感や感覚を取り戻すために、あえて鏡を閉じる振付家もいて。私はそれらをどう両立させ得るかが課題だと思っています」

Noismという名の由来のひとつに能があるが、世阿弥が自著『花鏡』で語った能楽論「離見の見（りけんのけん＝観客の視点で己を見ること）」にも話が及ぶ。「実演芸術では自分の姿を客観的に見ることが重要ですが、その視点は簡単には得られません。撮影した映像や鏡で自分自身を見ることができても、どこをどう見ているかが問題なのです」

舞台上の鏡の役割については、こう語る。「正面性がある舞台に鏡を置くことで、通常は見えないものが見えてくる。立体的になり、実演家にとっては全方位から見られているという緊張感を生むものでもあります」

自己の身体を日々鏡に映し出す舞踊家たちは、鏡の中に何を見るべきだろうか。「身体を通して自己と向き合うことは、己の中に他者を見出すということ。これは実演家として避けては通れない道で、向き合い方を自分の身体で感覚的に体得できなければ、実演家としては生きていけません」と金森。

多数の外国人メンバーが加わり、カンパニーの国際色が増したが、それもまた鏡となる。「国際化によって自分の価値観が変わった瞬間に景色が変わる。世の中は鏡です。集団活動の中でそれを日常的に体験できるNoismは豊かな場所になってきて、作品も豊かなものになっていくでしょう。いまの時代の国際的な集団でなければ生み出せないものがあり、それを見出すことがNoismの使命なのだと」

7月に予定されている『Mirroring Memories―それは尊き光のごとく』は、2018年4月に東京・上野で初演を迎え、高く評価された作品だ。恩師モーリス・ベジャールの没後10年間に金森が創作した作品群の断片から成るオムニバスで、鏡が印象的に使われている。「もう一度、この身を賭して新潟で向き合ってみたい。15年目のNoismの記憶を探って構成・演出し、いまの私たちを映し出して新潟のみなさんにお見せしたいです」

写真：篠山紀信　取材・文：松丸亜希子

『Mirroring Memories―それは尊き光のごとく』

Noism15周年記念公演

新作とベジャールへのオマージュ作品
『Mirroring Memories―それは尊き光のごとく』を上演。

日 時：7月19日（金）19:00、20日（土）17:00
21日（日）15:00
会 場：劇場
演出振付：金森穣
料 金：一般　S席¥4,000／A席¥3,000
U25 S席¥3,200／A席¥2,400
発売日：一般 5月19日（日）・会員 5月17日（金）

ワタシのNoism 公演Report

Noism1 実験舞踊 vol.1「R.O.O.M.」／『鏡の中の鏡』

低い天井から足先が覗く、肉体が舞台に降ってくる。身体はグリッドからなる三次元の座標にプロットされる。垂直の壁を走り、天井を逆さまに闊歩する。R.O.O.M.とはまさに、限定された場所でありながら、その空間を組み替える。ランダムに、全ての器官（オルガン）によって。ひしめきあうモンスターたちの実験。けれど新生Noismにはまだ慣れない。『鏡の中の鏡』の二人の、薄い距離を隔てその腕が、呼吸が、合えば合うほど、まだこのNoismは一つではない。かつてなく国際的な男性メンバー、Noism2からのたたき上げも少なくない女性メンバー。彼らが切磋琢磨し融合するこれからに期待したい。

荒井直美
新潟市美術館学芸係長。Noismも出品した「ニイガタ・クリエーション―美術館は生きている」展（2014）など、現代美術を中心に担当する。

私たちはNoismの活動を応援しています
SHISEIDO　Chacott　Jamrucrew Inc.　stage P.
はいからさんおどり　WIND　KOSMI　Noism サポーターズ

活動支援のお願い
Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは http://noism.jp/support/
お問い合わせは、りゅーとぴあ事業企画部（TEL.025-224-7000）まで。

2019 SPRING/SUMMER

RYUTOPIA NAVIGATION

2019年、春～夏のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとぴあカレンダーをご覧ください。

ゴールデンウィークのお出かけにぴったり! アキラさんのハッピーミュージックタ～イム♪

テレビでもおなじみの“アキラさん”こと宮川彬良と名手8名による小さなオーケストラ「アンサンブル・ベガ」、3年ぶりのりゅーとぴあ公演。「宇宙戦艦ヤマト」「白雪姫」「大きな古時計」などの誰もが聴いたことのある名曲と、新潟市ジュニア合唱団との共演で贈る合唱組曲「きのう・きょう・あした」。アキラさんのユーモアあふれるお話と華麗なサウンドでお楽しみください。心躍るさわやかなゴールデンウィークの始まりはこれで決まり!

©T.tairadate

宮川彬良とアンサンブル・ベガ
■4.27(土)15:00開演　■コンサートホール

1コイン・コンサートでそれぞれ千人以上を集客した 鈴木大介と大萩康司、夢のデュオが新潟で実現!

鈴木大介は、今や邦人ギタリストNo.1といっても過言ではない“ギターの俊才”。また大萩康司は柔らかで透明、ロマンティックな音色により“音の詩人”とも称される逸材です。共に1コイン・コンサートへの出演経験があり、新潟でも大人気の2人による、夢のプレミアム・デュオ。クラシックの名曲から「ニュー・シネマ・パラダイス」などの映画音楽、ピアソラの「タンゴ組曲」まで、ビギナーも通の方も楽しめるプログラムでお贈りします。

鈴木大介

©ビクターエンタテインメント
大萩康司

鈴木大介&大萩康司　ギターデュオ・プレミアム
■4.28(日)14:00開演　■コンサートホール

この上なくクールで鮮烈! 音楽監督ジョナサン・ノットの指揮で聴く『革命』

早くも今年度のクライマックスか?東響第3代音楽監督J.ノットが指揮台に登ると、「ものすごいこと」が起こります。圧倒的な才能からか、比類なきカリスマ性からか理由はわかりませんが、オーケストラが身も心も捧げて必死に演奏する姿は鬼気迫るものがあります。しかも今回はメインに『革命』の名で知られるショスタコーヴィチの交響曲第5番!どこまでも劇的に、どこまでも冷徹に…ブリテンのヴァイオリン協奏曲と共に、存分にお楽しみください。

東京交響楽団 第113回新潟定期演奏会
■5.26(日)17:00開演　■コンサートホール

巨匠エリアフ・インバルと ドイツ名門オーケストラが奏でる『マーラー第5番』

世界的指揮者インバルが、かつて首席指揮者を務めたベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団を率いてりゅーとぴあに登場。マーラーの作品解釈で評価の高い巨匠インバルが、傑作『交響曲第5番』を振ります。ホールいっぱいに轟く金管楽器、重厚な弦楽器の音色、ドイツ名門オーケストラの荘厳なサウンドをお楽しみください。2019年最も聴き逃せない注目公演、日本最高峰の音響を誇るコンサートホールでお待ちしております。

©Sverdlovsk State Philharmony
エリアフ・インバル

東響定期+α ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団
■7.3(水)19:00開演　■コンサートホール

最高のアーティストを500円で! 記念すべき第100回を含む、渾身のラインナップが決定!

りゅーとぴあ1コイン・コンサート2019 ～ランチタイム・コンサート～　■各回11:30開演 ※Vol.100を除く　■コンサートホール

100回記念となる特別編は、過去1コインに出演した人気ピアニスト4組5名の連続コンサート! Vol.100

「祝祭の日“ピアノ駅伝”」4回公演
■5.11(土) ※各回入替制、公演時間は50分

「0歳からの親子向けコンサート」
※3歳以上有料。2歳以下のお子様は膝上の場合無料
■10:30開演 中川賢一(ピアノ)

「いつもの1コイン・コンサート」
※下記3公演は、小学生以上入場可
■13:00開演 田村 緑(ピアノ) ■15:00開演 白石光隆(ピアノ) ■17:00開演 デュエットゥ かなえ&ゆかり(連弾&2台ピアノ)

©Shuhei NEZU
中川賢一

田村 緑

岩切 等
白石光隆

デュエットゥ かなえ&ゆかり

東京交響楽団が誇る若き天才首席奏者! オーボエの甘美な音色に酔いしれる1時間 Vol.101

「甘美な音色“オーボエ”」
■6.21(金)
出演:荒木 奏美(オーボエ)
宇根 美沙恵(ピアノ)

荒木奏美

宇根美沙恵

愛知県芸術劇場の専属オルガニストが、りゅーとぴあのオルガンの魅力を多彩に演出! Vol.103

「天上の響き“オルガン”」
■9.6(金)
出演:都築 由理江(オルガン)

都築由理江

1コイン初登場の「トロンボーン」。山形交響楽団メンバーを中心とした名手4人による、至高の響き! Vol.102

「究極のハーモニー “トロンボーン四重奏”」
■7.17(水)
出演:LUSTIA Trombone Quartet(トロンボーン四重奏)
太田 涼平／篠崎 唯
山崎 翔子／髙橋 智広

LUSTIA Trombone Quartet

2017年「ブラームス国際コンクール」で日本人初の優勝!完璧な技巧と歌心溢れる美音 Vol.104

「正確無比な技巧 “ヴァイオリン”」
■10.9(水)
出演:中村 太地(ヴァイオリン)
佐藤 卓史(ピアノ)

中村太地

©Takaaki Hirata
佐藤卓史

圧倒的な技術と情熱的な音楽。ギターという名の小さなオーケストラで魅了! Vol.105

「情熱の音色“ギター”」
■11.28(木)
出演:松田 弦(クラシックギター)

©Waki Hamatsu
松田 弦

第一級ソリストが次々に新潟へ。黄金のシリーズ『りゅーとぴあ ベスト・セレクション』

新潟市が東京オリンピック・パラリンピックのフランス・ホストタウンに選ばれたことを記念して、フランス出身の世界第一級のソリストが次々に登場します。デュフォーはベルリン・フィル首席フルート奏者。温かな音色で聴く人を幸せにします。ル・サージュは天才音楽家たちがこぞって共演を熱望するピアニスト。その才能は詩情豊かなシューマンで花開きます。シリーズの掉尾を飾るのは、元ウィーン・フィル首席ハープ奏者のメストレ。美音は尽きせぬ泉の如く。

各回 ■19:00開演　■コンサートホール
■7.27(土)　マチュー・デュフォー フルート・リサイタル
■9.26(木)　エリック・ル・サージュ ピアノ・リサイタル
■10.4(金)　グザヴィエ・ドゥ・メストレ ハープ・リサイタル

©ヤマハ株式会社
マチュー・デュフォー

エリック・ル・サージュ

©Jean-Baptiste Millot
グザヴィエ・ドゥ・メストレ

総勢130名による全力投球。合唱の魅力を余すところなくお届けします!

今年で29回目となる新潟市ジュニア合唱団の定期演奏会。ポピュラーからクラシックまで、名曲盛りだくさんのプログラムをお届けします。ダンスを交えた元気いっぱいの歌声や、会場全体に響き渡る美しいハーモニーなど、合唱の魅力を存分にお楽しみください。恒例の合唱ミュージカルにも挑戦します。団員全員の歌声で作り上げる物語にご期待ください!

新潟市ジュニア合唱団 第29回定期演奏会
■7.21(日)15:00開演　■コンサートホール

りゅーとぴあコンサートホールで初開催! 邦楽×合唱のジュニアコラボにもご注目♪

第24回定期演奏会は、初めてりゅーとぴあコンサートホールで開催します!当団の宝である川崎絵都夫作品「南からの風」「邦楽と合唱のためのこどもうた」や、当団指揮者・鯨岡徹作曲「あそびのおと」など、ジュニア邦楽合奏団ならではの曲目が並びます。合唱パートはもちろん新潟市ジュニア合唱団が友情出演!またメインの上級合奏では、現代邦楽合奏のジャンルにおける伝説的大曲「ディヴェルティメント(佐藤敏直作曲)」に挑戦します。

新潟市ジュニア邦楽合奏団 第24回定期演奏会
■8.4(日)14:00開演　■コンサートホール

新コンビ誕生! トオル&ヒロキ 二人でイン・ザ・プール

出版社勤務の和雄は、魅入られたようにデブでマザコンの精神科医・伊良部の患者になった。そしてなぜか二人でイン・ザ・プール。そこへ伊良部がとんでもない提案を。ダメだ、耳を貸してはいけない。その先には地獄が待っている…。
奥田英朗の人気小説を完全舞台化。とんでもない精神科医を渡辺 徹が、その患者を内 博貴が演じます。

出演:渡辺 徹／内 博貴
原作:奥田英朗『イン・ザ・プール』(文春文庫)
上演台本・演出:笹部博司(りゅーとぴあ演劇部門芸術監督)
ステージング:舘形比呂一

りゅーとぴあ発『イン・ザ・プール』
■6.29(土)15:00開演　■劇場

©石川 純
渡辺 徹

シェイクスピアの名作喜劇を気鋭の演出家と豪華キャスト陣で上演!

西洋の古典劇を得意とする、気鋭の若手演出家・熊林弘高が、野趣あふれるシェイクスピアの恋愛喜劇に挑む話題作!
満島ひかり、坂口健太郎をはじめ、演出家の信頼厚い豪華キャスト陣が織りなす名作喜劇にご期待ください。

演出:熊林 弘高
出演:満島 ひかり　坂口 健太郎
満島 真之介　温水 洋一
萩原 利久　碓井 将大
テイ龍進　YUQi (UQiYO)
広岡 由里子　久保 酎吉
山路 和弘　小林 勝也
中村 蒼　中嶋 朋子

満島 ひかり　坂口 健太郎　満島 真之介　中村 蒼　中嶋 朋子

『お気に召すまま』 ■8.31(土)・9.1(日)各日13:30開演　■劇場

類い稀な歌声。圧倒的な歌唱力。ハワイを代表する歌姫、11年ぶりの新潟公演が決定!

人気・実力ともに現在のハワイを代表する女性シンガー。“ハワイ語で歌われたアルバム”として初の全米チャート入り、ハワイのグラミー「ナ・ホク・ハノハノ・アワード」を18回受賞、本家グラミー賞にも5度ノミネートされています。待望の新潟公演に、ぜひお越しください。

第一部:エイミーと日本のフラチーム
　　による華やかな共演
第二部:エイミー・ハナアリイ／
　　フラ:ヘアリイ・スタンレー

N.Ichikawa

エイミー・ハナイアリイ来日公演
～ハワイアン・ミュージック&フラ・コンサート～
■6.5(水)19:00開演　■新潟県民会館

毎年恒例の松竹大歌舞伎!今年は高麗屋。親子2代の襲名披露「口上」をお楽しみに!

夏の大人気「松竹大歌舞伎」。今年は高麗屋、松本幸四郎改め二代目松本白鸚と市川染五郎改め十代目松本幸四郎の親子2代と幹部俳優が並び、裃姿でご挨拶申し上げる華やかな襲名披露「口上」から始まります。義太夫狂言の名作「引窓」は、明かり取りの天窓を舞台装置として巧みに利用し、母と弟を救う兄の心情が胸をうつ一幕です。男と女の深い因果の物語で、色模様から壮絶な殺し場に至るドラマ性に満ちた怪談舞踊「かさね」をお見逃しなく!

松竹大歌舞伎
■7.17(水)13:30開演・18:00開演　■新潟県民会館

破竹の勢いを見せる劇団が数々の演劇賞に輝いた代表作で待望の新潟登場!

社会的な事象をモチーフに、綿密な調査に基づき描かれる古川健の劇作と、人間味を凝縮させる日澤雄介の演出。そして劇団外でも活躍する俳優たちにより、硬質ながらも生々しい人間ドラマが展開する作品で、高い評価を得る劇団チョコレートケーキ。多くの演劇賞の受賞を重ね破竹の勢いを見せる劇団が、“悲劇の帝王”大正天皇を描き、読売演劇大賞選考委員特別賞を受賞した代表作で待望の新潟初登場!

撮影:池村隆司

【りゅーとぴあNext Stage“NE/ST” 第7弾】
劇団チョコレートケーキ『治天ノ君』
■9.18(水)19:00開演　■劇場

野心と情熱、そして愛。嵐のように生きた33年の生涯

南米アルゼンチンを舞台に、私生児として生まれながらも、その美貌と才気でアルゼンチン大統領夫人にまで上り詰めた実在の人物エバ・ペロンの劇的な半生を描いた本作。劇団四季では1982年、演出家・浅利慶太によるオリジナル演出で初演を迎えました。エバという一人の女性の半生と、彼女の放つ強烈な人生のエネルギーを、華やかに、時に冷徹にシニカルに描き出した浅利演出版『エビータ』。2007年以来、12年ぶりの全国公演でお届けします。

撮影:山之上雅信 ※過去の公演より

浅利慶太追悼公演 第3弾　劇団四季ミュージカル『エビータ』
■9.28日(土) ※時間未定　■新潟県民会館
※チケット料金等、詳細は次号のりゅーとぴあマガジンでご案内します。

映画への愛にあふれたKERAの真骨頂ともいえるロマンティック・コメディ!

舞台は1936年の日本。小さな島に暮らす素朴な人々が巻き込まれる、夢のような事件。映画愛に満ちた奇想天外なロマンティック・コメディの大傑作。オリジナル・キャスト、スタッフが再集結、3年ぶりの待望の再演&新潟初登場!妻夫木聡が演じる一人二役にも注目です!

撮影:西村裕介
左から、ともさかりえ、妻夫木聡、緒川たまき、妻夫木聡

世田谷パブリックシアター+KERA・MAP#009
『キネマと恋人』
■7.26(金)18:30開演・27(土)13:00開演・28(日)13:00開演　■劇場

郷土新潟で育まれてきた日本舞踊と囃子の磨きあげられた芸をご堪能ください

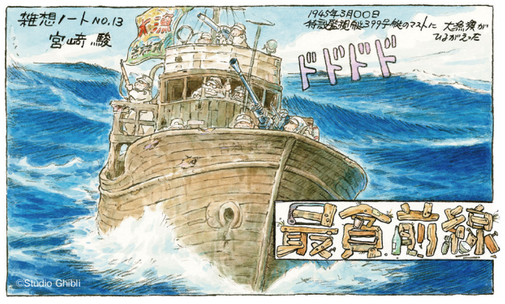
長い伝統と格式を誇る新潟の古町花柳界。大正末から昭和初期の最盛期には古町芸妓の数は300人を超え、全国屈指の花街として京都祇園と並び称されました。そして、その名声を支えてきたものが全国に名だたる料亭と、なにより古町芸妓の磨き抜かれた芸といわれています。新潟の夜を彩り続け、湊町新潟の情緒と品格、歴史を感じさせる古町芸妓の芸を、古町芸妓総出演により舞台で披露いたします。

昨年の公演から 長唄「藤娘」

第三十一回ふるまち新潟をどり
■9.8(日)12:00開演・15:30開演　■劇場

宮崎 駿のオリジナル作品　国内初の舞台化決定!

宮崎 駿が炙り出した太平洋戦争の歴史秘話「最貧前線」。ちっぽけな漁船に乗り組んだ男たちが、海の最前線で強大なアメリカ軍に立ち向かった。
平和への願いが込められた「最貧前線」が実力派俳優の参加を得て、次の世代へ語り継ぐべき物語として、舞台に立ちあがります。



内野 聖陽

原作:宮崎 駿　脚本:井上 桂　演出:一色 隆司
出演:内野 聖陽／風間 俊介／溝端 淳平・ベンガル
　　佐藤 誓／加藤 啓／蕨野 友也／福山 康平／浦上 晟周／塩谷 亮／前田 旺志郎

『最貧前線』(宮崎 駿の「雑想ノート」より) **■9.28(土)18:30開演・29(日)13:30開演　■劇場**
料金:S席¥7,800　A席¥6,300　U25シート¥2,500
発売日:一般7月25日(木)・会員7月20日(土)

The Junior Times

合唱、オーケストラ、邦楽合奏。3つの音楽教室は、音楽を通して子ども達を教え育む、ジュニアのための“サードプレイス”。日々成長する子ども達の活動の中から、旬なトピックスをお届けします!

上田 駆さん(高2)

Pick up

▶グランプリのトロフィーと最優秀賞のメダル。初優勝の記念品は一生の宝物になりそうです。

＼声楽部門でグランプリの快挙！／

ジュニア合唱団・上田 駆さんに突撃!

「自分の知識や経験を次の世代に伝え、合唱団全体でレベルアップしたい」

昨年8月に行われた「洗足学園ジュニア音楽コンクール」でクラシック部門最優秀賞&声楽部門グランプリを獲得した上田駆さん。2018年は、自分の歌に向き合い続けた1年だったと言います。「コンクールにたくさん出て、経験を積んだ方がいいと声楽の先生からアドバイスをもらって。優勝できるとは思っていなかったので本当にびっくりです」。そんな上田さんが舞台へ立つ時に意識しているのは、歌うことを楽しみ、自然体でいること。年間を通して多くの公演をこなす合唱団での活動が大きな自信となり、本番前の不安や緊張はあまり感じなかったそう。「コンクールは出る度に新たな発見があるので面白いですね。コンクールや合唱団の公演のほかに、個人で『新潟クラシックストリート』にも出演するので、いろいろな世界に触れて何でも吸収していきたい。そして、僕が学んだことをジュニア合唱団の次の世代に伝えたいです」。

数字で読み解く ジュニアのハナシ。

※数字は3教室の合計(設立年数、練習曲数を除く)

現在の所属団員は260人!

現在、小学生～高校生までその数なんと260人が在籍!毎年3月開催のスプリングコンサートでは、迫力満点の「Believe」の合同演奏を披露します!

1年間で約20公演に出演!

プロオケ・音楽家との共演や市内外で行われるイベントへの出演など、ステージに立つ機会が多く、さまざまな経験を積むことができるのも魅力です。

練習曲は500曲以上!?

例えばジュニア合唱団に小学2年～高校3年まで在籍した場合、習得する曲は約550曲!幅広いジャンルに挑戦し、深い表現力を身に付けます。

設立40年以上の歴史あり。

合唱は1970年、オーケストラは73年(共に前身の活動含む)、邦楽は95年設立の歴史があり、長年音楽活動を通して子ども達の成長に寄与しています。

音楽の道へ進んだ先輩は70人以上!

プロとして活躍、有名音楽ホールで勤務、ジュニア音楽教室で指導など、その進路は多彩!りゅーとぴあスタッフにもジュニア出身の先輩が…!

＼教えて／ 近年は和楽器ブーム!?

和楽器の魅力

和楽器とロックを融合させた「和楽器バンド」の活躍、「この音とまれ!」など箏や三味線を題材にした漫画の登場により、近年再評価を集める和楽器。その魅力をジュニア邦楽合奏教室の団員&先生から教えてもらいました!

星野日和さん(箏・高3)

温かみのある独特の音色は、木材など自然のもので作られた和楽器ならでは!柔らかく繊細なハーモニーで、とても癒されます。

北原佳歩さん(箏・高3)

調絃の仕方や手の角度、力の入れ方で音が変化!自分の体をコントロールして音を組み立てていくのが、パズルみたいで面白い。

鯨岡 徹先生(尺八・指揮)

シンプルだからこそ奥深く、無限の可能性を秘めた楽器。子ども達と一緒に、伝統の楽器で最新の音楽にチャレンジしています。

4.27 SAT

「宮川彬良とアンサンブル・ベガ」出演に向けて、練習中!

本番を目前に控え、練習も佳境に。高校生と小学生の団員がペアとなり、子ども達の自主性を尊重した練習スタイルが特徴的なジュニア合唱団、その団結力はピカイチ!豊かな個性とチームワークで作るステージは必見です。

海野美栄先生(指揮)

舞台上で大切なのは信頼感。そのために、団員同士で学び合い助け合いながら練習に励んでいます。今回披露する合唱組曲「きのう・きょう・あした」は個性的で素敵な楽曲なので、子ども達のさまざまな表情を見せたいですね。

猛スピードで成長中!

B合奏(それゆけ)

―ジュニアオーケストラ教室―

数々の名門オーケストラで客演指揮を務めるなど、確かな実績を持つ永峰大輔さんを指揮に迎え、急成長中のB合奏。チームを引っ張るインスペクターの2人からはどう見えている?

阿部楓佳さん(ヴァイオリン・高2)　小田 夕さん(フルート・高2)

小 自分たちが成長してるっていう実感はあんまりないけど、「火の鳥」(昨年9月の演奏会で披露)をやり切った時の達成感は大きかったよね。

阿 譜読みも大変だし終わりが見えなくて、かなりトラウマ…(笑)。でもだからこそ、「こんな難しい曲ができるようになった」って自信はついたかも。

小 永峰先生は具体的に注意してくれるから、演奏にも合奏の雰囲気にもメリハリが出た気がしない?

阿 先生と団員の距離感も近くなったし、それもあってオケのチームワークは確実に良くなってきてると思う。

小 そういうのって演奏面にも表れるから、仲間との絆をもっと深めていきたいよね。

阿 そう!仲間!ここで一緒に練習するオケのメンバーは友達より“仲間”って感じ。みんながいるから頑張れるし、私にとっては“オアシス”みたいな場所。週末の練習が楽しみだから、平日の学校を頑張れるんだよね(笑)。

小 ジュニアオケは青春だよね～!

阿 秋の演奏会でやる曲が決まったけど、どう思った?

小 難しそうですごく不安…(笑)。でも先生達が「今のみんななら出来る」って言ってくれたのは嬉しかったな。

阿 個人のスキルアップもしたいし、全体の表現力も磨きたいね。

小 B合奏は絶対もっと良くなる!私も個人練習頑張ります!

永峰先生だけが知る!?

B合奏のココが変わった!

永峰大輔先生(B合奏指揮)

「1つ1つの音の意味や役割を考える」ということをポリシーとして持っているのですが、それが子ども達にも伝わり、みんなが意識してくれているように感じて嬉しいですね!全体に一体感が出て、演奏面はもちろん、楽器の先生含めチームの雰囲気もすごく良くなりました。

りゅーとぴあ等をご利用いただく公演、県内の公立文化施設の自主事業をご紹介!

各公演記載のマークは下記のとおりです。
チケット取扱い:[A]りゅーとぴあ2Fインフォメーション　[B]新潟市音楽文化会館　[C]新潟伊勢丹　[D]ヤマハミュージックリテイリング新潟　[E]コンチェルト　[F]インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)

本ページはりゅーとぴあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとぴあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

4/5(金) 風景旋律

『木の温もりの音楽』と映像のコラボレーションコンサート
～10年ぶりの里帰り～　vol.12「ただいま～後編」

4月5日(金)
昼の部14:00開演／夜の部19:00開演
りゅーとぴあ スタジオA
全席自由 ¥2,000(当日¥2,500)
チケット取り扱い:[A][D][E][F]

10年ぶりのナイロビ空港に降り立ったピアニスト川崎祥子の「アフリカ里帰り旅」の記録。風景に寄り添う、目と耳と心で感じるコンサート。

■演奏 市橋靖子(フルート)、川崎祥子(ピアノ)

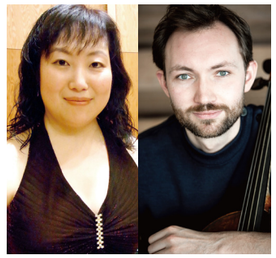
主催・お問い合わせ　木の温もりの音楽
Eメール kinonukumorinoongaku@gmail.com
TEL 080-4511-7494

4/22(月) 平山友紀子&シツェヤン・ワイエンベルク デュオリサイタル

オランダの若手トップチェリストのワイエンベルクと織りなす珠玉のロマン派楽曲の夕べ

4月22日(月)　19:00開演
新潟市音楽文化会館
全席自由 ¥3,500 学生¥1,500
チケット取り扱い:[B][C][E][F]

Program
リスト／巡礼の年 第2年「イタリア」より ペトラルカのソネット 第123番
シューマン／謝肉祭 作品9
シベリウス／無伴奏チェロのための主題と変奏 ニ短調
ラフマニノフ／チェロとピアノのためのソナタ短調 作品19



(ピアノ)　(チェロ)

お問い合わせ　キャリーオン
TEL／FAX 025-222-0707　Eメール ahcarryon@gmail.com

5/1・2・3(祝)(水)(木)(金) Accendere 第4回公演 粛々と運針

作:横山拓也(iaku)　演出:岡田康之+Accendere

5/1(水・祝)19:00開演Ⓐ
2(木・祝)14:00開演Ⓑ・19:00開演Ⓐ
3(金・祝)14:00開演Ⓑ
りゅーとぴあ　スタジオA
全席自由 一般¥2,300(当日¥2,800)
小中高校生¥1,000(当日¥1,500)
チケット取り扱い:[A]

■出演 内藤陽介、和泉久雪、吉田わかな
岡田康之、先川史織Ⓐ、中島まなみⓐ
三浦真由Ⓑ、今井美沙子Ⓑ
※Wキャスト。先川・中島はⒶ、三浦・今井はⒷ日程のみ出演。

Corichチケットで申し込む　Accendere こりっち　検索
公式HPから申し込む　Accendere 公式　検索

お問い合わせ　Eメール information.accendere@gmail.com　TEL.090-5438-7853

5/3(金・祝) ～新潟県出身、本場イタリアも認めた実力派オペラ歌手～ 笛田博昭テノールリサイタル

見事な響き テクニックに裏付けされた 輝かしい声

5月3日(金・祝)14:00開演
新潟市音楽文化会館
全席自由 一般 ¥3,000
(当日¥3,500)
小中高校生 ¥2,000
(当日¥2,500)
チケット取り扱い:[B]

Program
プッチーニ／歌劇トゥーランドットより「誰も寝てはならぬ」
プッチーニ／歌劇ラ・ボエームより「冷たき手を」
カプア／オー ソレ ミオ
クルティス／帰れソレントへ
ロータ／ゴッドファーザー～愛のテーマ～ ほか

ピアノ:五十嵐 麻利江

主催・お問い合わせ・ご予約　笛田博昭リサイタル実行委員会
TEL 025-287-7791　Eメール skywalker_yukio@me.com

5/24(金) トリオ・ベルガルモ演奏会

～ソプラノ小山瑠美子さんを迎えて～

5月24日(金)
昼の部 14:00開演／夜の部 19:00開演
りゅーとぴあ　スタジオA
全席自由 一般 ¥2,500(当日¥3,000)
小中高校生 ¥1,500(当日¥2,000)
チケット取り扱い:[A][E][F]

■出演 庄司愛(ヴァイオリン)、渋谷陽子(チェロ)
石井朋子(ピアノ)
■ゲスト 小山瑠美子(ソプラノ)

Program
クレイン／エレジー
ショスタコーヴィチ／ブロークの詩による7つの歌
ラヴェル／ピアノ三重奏曲 イ短調

お問い合わせ　TEL 050-5438-6411(ベルガルモ事務局)

6/23(日) 岩永善信ギターリサイタル

in新潟17th～10弦の世界～

壮大な「動物の謝肉祭」、幽玄の世界へ深く導く「羽衣伝説」は圧巻!
ギター音楽の世界に留まらない岩永善信の演奏をお楽しみに!!

6月23日(日) 18:00開演
りゅーとぴあ　スタジオA
全席自由 一般 ¥3,500(当日¥4,000)
チケット取り扱い:[A][D]

Program
バッヘルベル／シャコンヌ
グラニアーニ／序曲op.15
J.S.バッハ／パルティータ1番BWV825
グルック／オルフェの嘆き・精霊の踊り
サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」
藤井敬吾／羽衣伝説

主催・お問い合わせ・ご予約　Kプロデュース・広瀬恵子ギター教室
TEL／FAX 025-276-1168　Eメール kei.h.w@soleil.ocn.ne.jp

風の楽器 パイプオルガン

りゅーとぴあ専属オルガニストの山本真希がオルガンという楽器に焦点を当て、楽器のケア、楽器の魅力をご紹介します。

第8回 改修工事 オルガンの養生

昨年末から約3か月間、コンサートホールの舞台の張り替えや天井工事といった大規模な改修工事が行われました。工事で出る埃の対策として、客席や工事箇所はビニールシートで覆われ、オルガンにも養生が施されました。

オルガンのパイプには、歌口という風が通る切り口がありますが、そこに埃がたまると、音程が狂い、発音不良を起こします。ひどい場合、音が鳴らなくなったり、鳴りっぱなしになるといった症状が表れ、気温、湿度の大きな変化も、様々な不具合が生じる原因となります。大型のオルガンには、電気部品も多く使用されており、それらに埃が付着すると故障をきたし、その状態で使用すると発火の危険性もあります。

埃から楽器を守り、良い状態を維持するため、スペインから2人の技師が来日し、約3日かけてオルガンの養生が行われました。

工事終了後は養生が撤去され、引き続きオルガンのメンテナンスが入念に行われます。新年度には様々なコンサート、また、改修工事の2年間、開催できなかったオルガン講座も再開されます。新しい年もオルガンを良い状態に維持できるよう努め、色々な形でオルガンの音色をお伝えしていきたいと思います。

幅16mメガサイズのビニールシート。オルガンの両側面と前面を覆うサイズを測り裁断。作業はホール舞台上で行われた

国内最大級、高さ11m×幅10mのオルガン全体を包み込む。工事で出る埃から大切なパイプを守るためだ

オルガンケース内部のパイプや階段下もビニールで覆われた

りゅーとぴあ SHOP 通信

当館2階、インフォメーションに併設されているりゅーとぴあSHOPでは、常時約200点の商品を販売しています。楽器モチーフのアクセサリーや食器類、Noismのオフィシャルグッズ、お土産品、和小物など、幅広いラインナップを用意!お店をのぞいてみれば、きっとお気に入りのアイテムに出合えるはず。ご来館の記念に、公演の合間に、音楽好きの方へのプレゼントに、ぜひご利用ください。

コレがオススメ!

バッグキークリップ ¥2,700

サイズ:H6×W1.5cm

バッグの中で鍵の迷子を防止します!ラインストーンの存在感で暗いバッグの中でもさっと鍵が取り出せる、お役立ちアイテム。側面や内ポケットに挟んで毎日のお出かけにお使いください。

ト音記号スタンド ¥1,620

サイズ:Φ9.5×H22cm
材質:アイアン

※性質上、濡れたまま放置しますと錆びる場合がございますのでご注意下さい。

ト音記号が立体的になった小物スタンド。ペン立て、カトラリースタンド、歯ブラシ立てなど、あらゆるシーンで活躍します。音楽を感じるおしゃれな空間作りにどうぞ♪

クリアフォルダーB6 各¥216

サイズ:
H17.5×W12cm

花と音楽をモチーフにしたクリアファイル。絵柄はストロベリー・パープルローズ・ホルンの3種類。仕切りとインデックスがついているので、ハガキやチケットの整理に便利です。

※価格は全て税込です。

りゅーとぴあSHOP
(館内2F インフォメーション)
営業時間 11:00〜19:00(休館日を除く)

スタッフのイチオシ

あとりえ薫童ポストカード
¥108 全11種類
「花とこども」をテーマに描かれた、温かな画風が魅力です。

りゅーとぴあのスタッフが厳選リコメンド!

パートナーショップのススメ。

今年で5周年を迎えるヒメミズキは、新潟では珍しい器の専門店。器を通して日本の文化に触れ、美しい四季のうつろいを感じてほしいとの思いから始まった同店には、店主の小笹教恵さん自らが全国各地へ足を運んでセレクトした、日常に寄り添う凛とした佇まいの器が並びます。器の魅力を体感できる多彩なイベントも随時開催中なのでお見逃しなく。

1.佐賀県の作家・川口武亮さんの「三島五寸皿」(3,240円)。 2.白を基調とした店内には、東北〜九州まで各地の作家による手作りの器がズラリと並ぶ。 3.店主・小笹さんの明るく気さくな人柄に惹かれて、常連になるお客さんも多い。

【店舗情報】ヒメミズキ

新潟県新潟市中央区古町通2番町528
TEL 025-201-9252
営業時間 11:00〜18:00
定 休 日 火曜日

景色に溶け込み、ともすれば見落としてしまう小さなお店ですが、その魅力は絶大!コーヒーを飲んだり、ご飯を食べたり、ごくごく当たり前な日常のワンシーンも、お気に入りの器が1つあるだけでグッと楽しくなりますよね。一度訪れれば、暮らしを豊かにしてくれる素敵な器と出合えること間違いなしです!

広報/Sさん
学生時代はピアノ、吹奏楽、バンドに熱中した根っからの音楽好き。最近感動したものは、本誌7Pのジュニア合唱団取材中に聴いた子ども達の歌声。

＼ パートナーショップ特典 ／
オリーブオイル(小びん)プレゼント
※商品お買い上げの方対象

パートナーショップとは?
りゅーとぴあで開催された公演チケットか、りゅーとぴあ友の会N-PAC mate会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。
詳細はりゅーとぴあホームページでご確認ください。
※公演によっては対象外のものもございます。

ぶらりFURUMACHI

文・イラスト/迫 一成(hickory03travelers) vol.36

蛇の神様は卵をあげよう

2019年の新年度が始まりますね。そして平成ともいよいよお別れです。

ぼくが小学校低学年の冬に昭和から平成になり、大人になって家族ができて、長男が小学3年生の今年、平成が終る。人生の土台と青春を平成で過ごさせてもらったわけですね。少し寂しいですね。とは言っても、新しい元号になるというのは、自分たちに置き換えてみると、お店のリニューアルとか、事業継承、世代交代のようなもの。ということは、また新しい風が吹くわけで、きっといいことがありますね。頑張っていきましょう。

さてさて、話はまるっきり異なりますが、皆さんはりゅーとぴあのお隣、白山神社の境内にある蛇松明神を知ってますか?白い蛇の神様が奉られていて、商売繁盛や金運上昇などの神様です。地元の人は知っているようですが若者や郊外在住の皆さんはなかなかご存じないかと。

白山神社の本殿の左側にある小さな赤い鳥居をくぐり、暗い階段と通路を通り、神社の裏側に行くと、そこに小さな神社が並んでいるのです。大きめの白い蛇の絵と、絵馬がたくさん並んでいて、おおお〜となります。謂れも読んでみてください。蛇の神様なので、お供え物は「卵」が喜ばれるようで、パックに入った卵が何箱もお供えしてあります。今年は、一度、卵を持ってご挨拶に行こうかと思ってます。皆さんもぜひ。

歴史を感じる白山公園、何度行っても魅力的です。

PROFILE 迫 一成 Sako Kazunari
1978年福岡県生まれ。2001年クリエイト集団hickory03travelers結成。「日常を楽しもう」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔らかく活動中。
http://www.h03tr.com

※古町(FURUMACHI):りゅーとぴあに一番近い老舗商店街